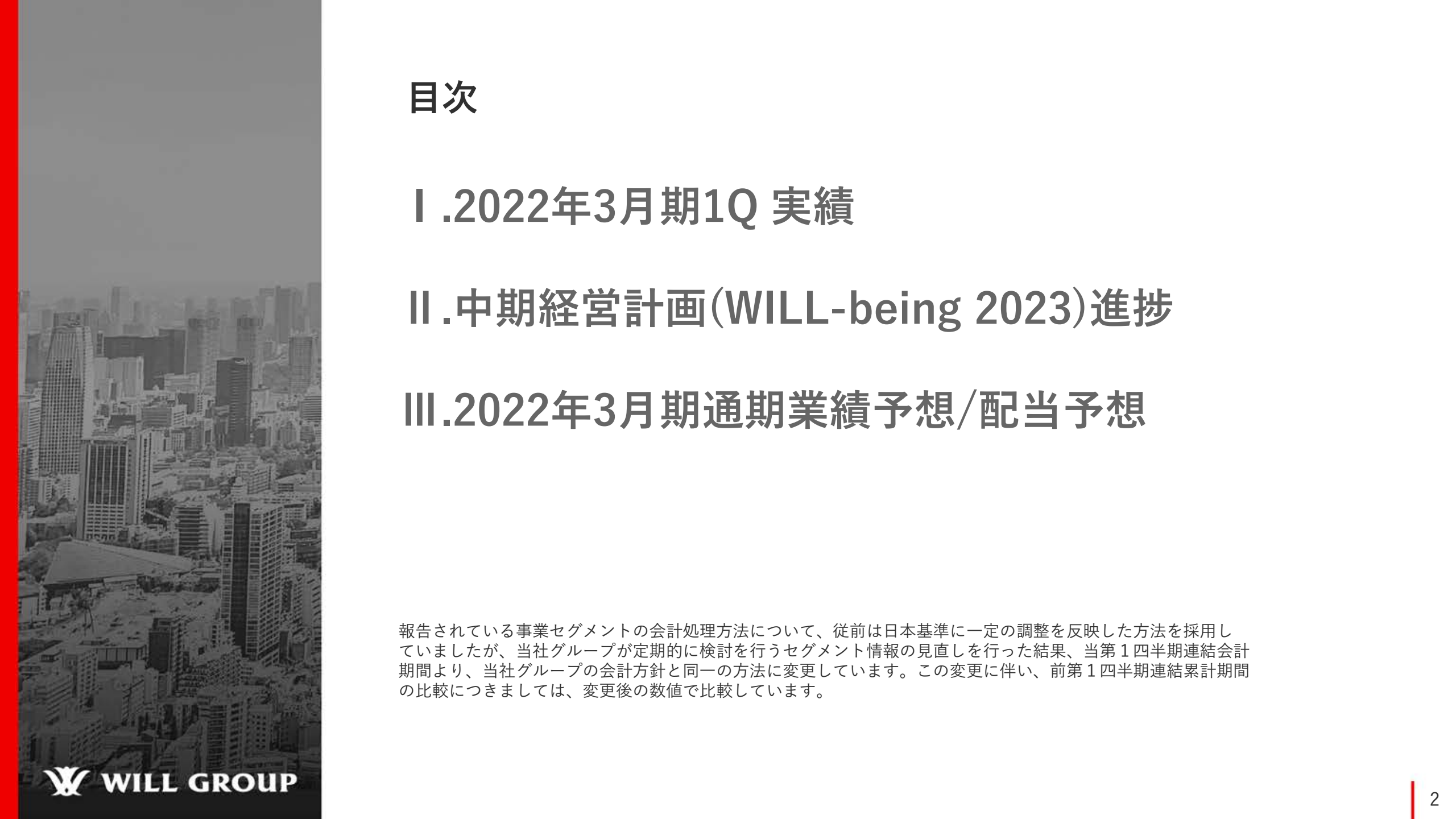




2022年3月期1Q 決算説明会

2021年8月25日
株式会社ウィルグループ （東証一部 6089）



目次

I .2022年3月期1Q 実績

II .中期経営計画(WILL-being 2023)進捗

III.2022年3月期通期業績予想/配当予想

報告されている事業セグメントの会計処理方法について、従前は日本基準に一定の調整を反映した方法を採用していましたが、当社グループが定期的に検討を行うセグメント情報の見直しを行った結果、当第1四半期連結会計期間より、当社グループの会計方針と同一の方法に変更しています。この変更に伴い、前第1四半期連結累計期間の比較につきましては、変更後の数値で比較しています。



I .2022年3月期 1Q実績

1

国内、海外での人材紹介が好調に推移し、
上期及び通期業績予想を上方修正。

2

中期経営計画の基本戦略「WORK SHIFT戦略」
は計画通り進捗。

3

財務指標は、親会社所有者帰属持分比率の
中期経営計画目標：20%に向けて着実に改善。

1Qは、スタートアップ人材支援領域、海外WORK事業の人材紹介売上が好調に推移。
中期経営計画の基本戦略の「WORK SHIFT戦略」は計画通り進捗。

(億円)	前期実績	実績	前期比	
			増減	増減率
売上収益	286.3	315.3	+ 29.0	+ 10.1%
売上総利益 (売上総利益率)	58.6 (20.5%)	69.0 (21.9%)	+ 10.3 (+1.4pt)	+ 17.7%
営業利益 (営業利益率)	9.8 (3.5%)	11.3 (3.6%)	+ 1.4 (+0.1pt)	+ 14.9%
税引前四半期利益	9.7	11.4	+ 1.6	+17.3%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	6.3	7.0	+ 0.7	+ 11.1%
EBITDA (営業利益+減価償却費及び償却費)	15.1	16.1	+ 1.0	+ 6.9%

従業員数：5,156人
(前年度末比：+311人)

連結売上収益の四半期推移

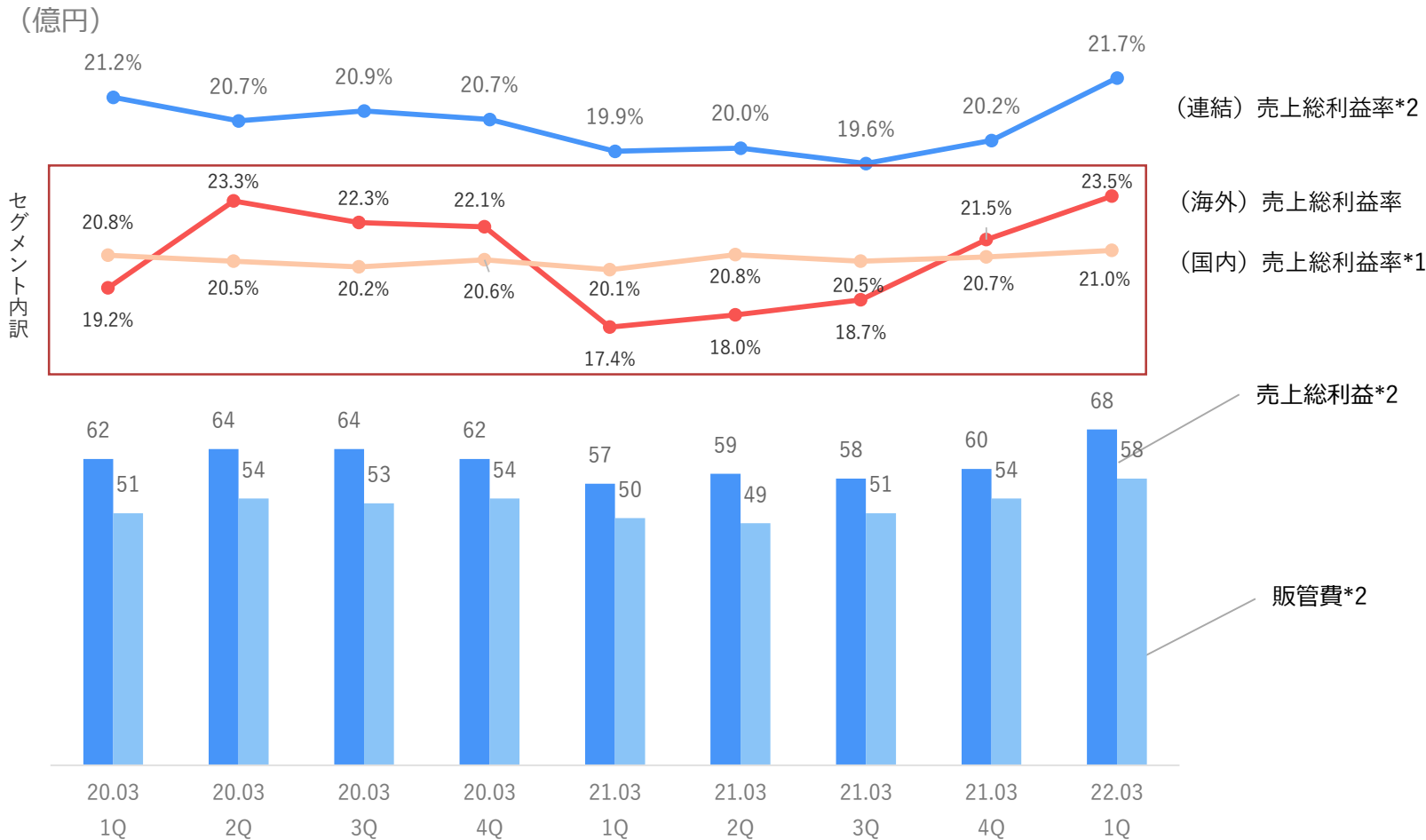
(億円)



22.3期1Qは、
前年4Q比：+14億円。
(為替影響は+8億円)

※21.03期の売上収益は、海外の補助金収入の影響等を除いた調整後の数値です。

売上総利益率の四半期推移



売上総利益率は改善。
先行投資は、
1Q計画：3.3億円に対し、実績：2.8億円。

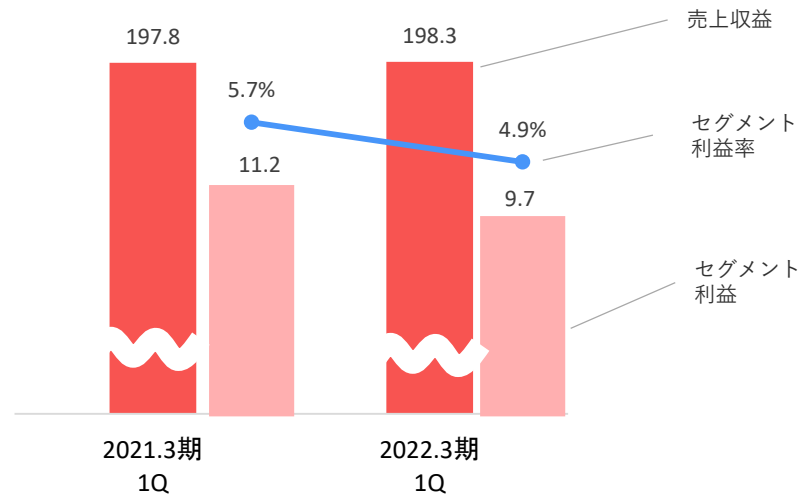
*1 セグメント内の連結調整は含んでいません。また、20.03期は従来の会計方針での数値です。

*2 売上総利益、販管費は、海外の補助金収入の影響等を除いた調整後の数値です。

セグメント業績概要

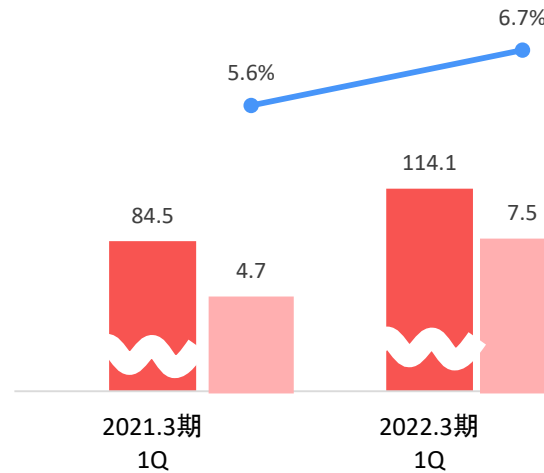
(億円)

国内WORK事業



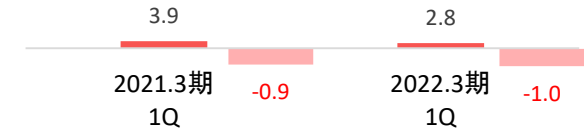
- ・セールスアウトソーシング領域の通信以外の分野、ファクトリーアウトソーシング領域は減少するも、通信分野、コールセンターアウトソーシング領域、介護・保育領域、スタートアップ人材支援領域が堅調に推移。
- ・介護領域の人材紹介、建設、スタートアップ人材支援等への先行投資（2.8億円）実施。

海外WORK事業



- ・豪州、シンガポールとも新型コロナウイルス感染症拡大の抑え込みが出来ており、抑制されていた採用活動が再開し、人材紹介売上が大幅に増加。
- ・前年度に引き続きシンガポールにおける新型コロナウイルス対策として雇用支援政府補助金（0.7億円）計上。

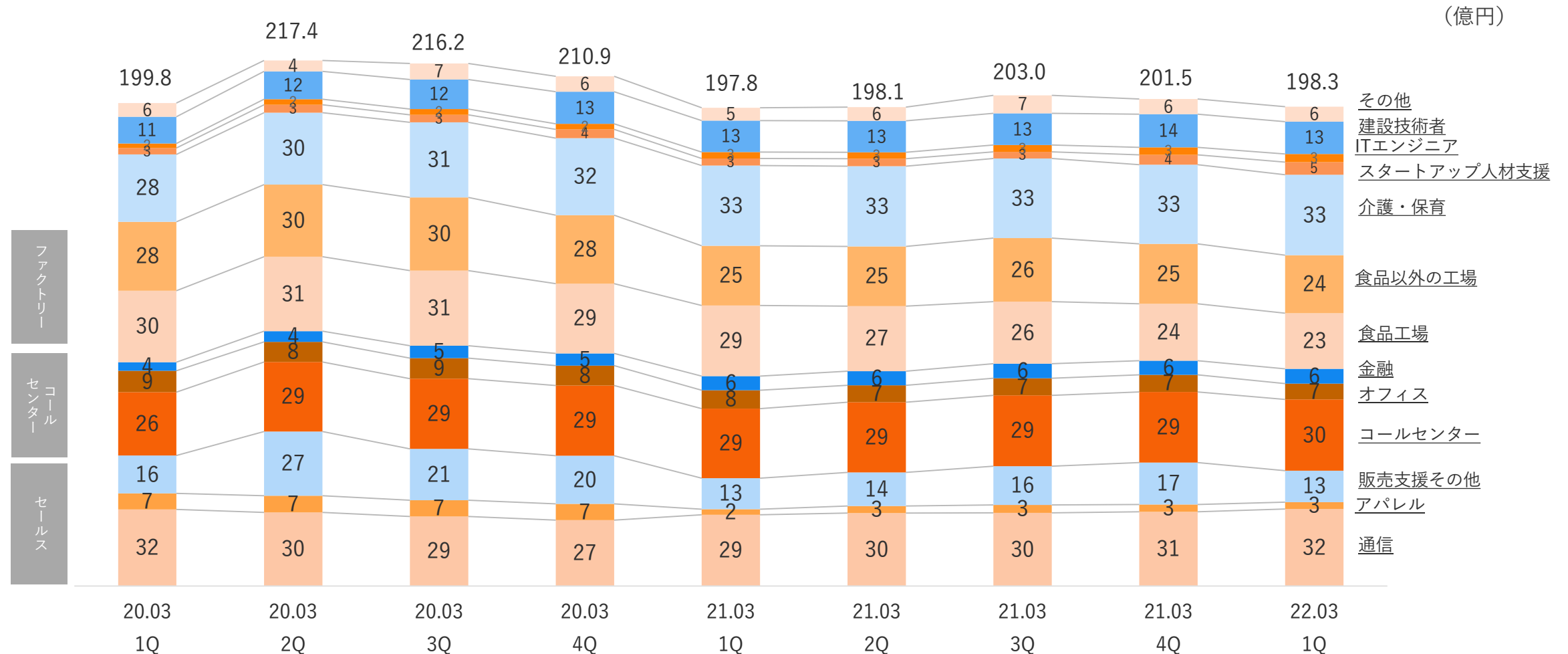
その他



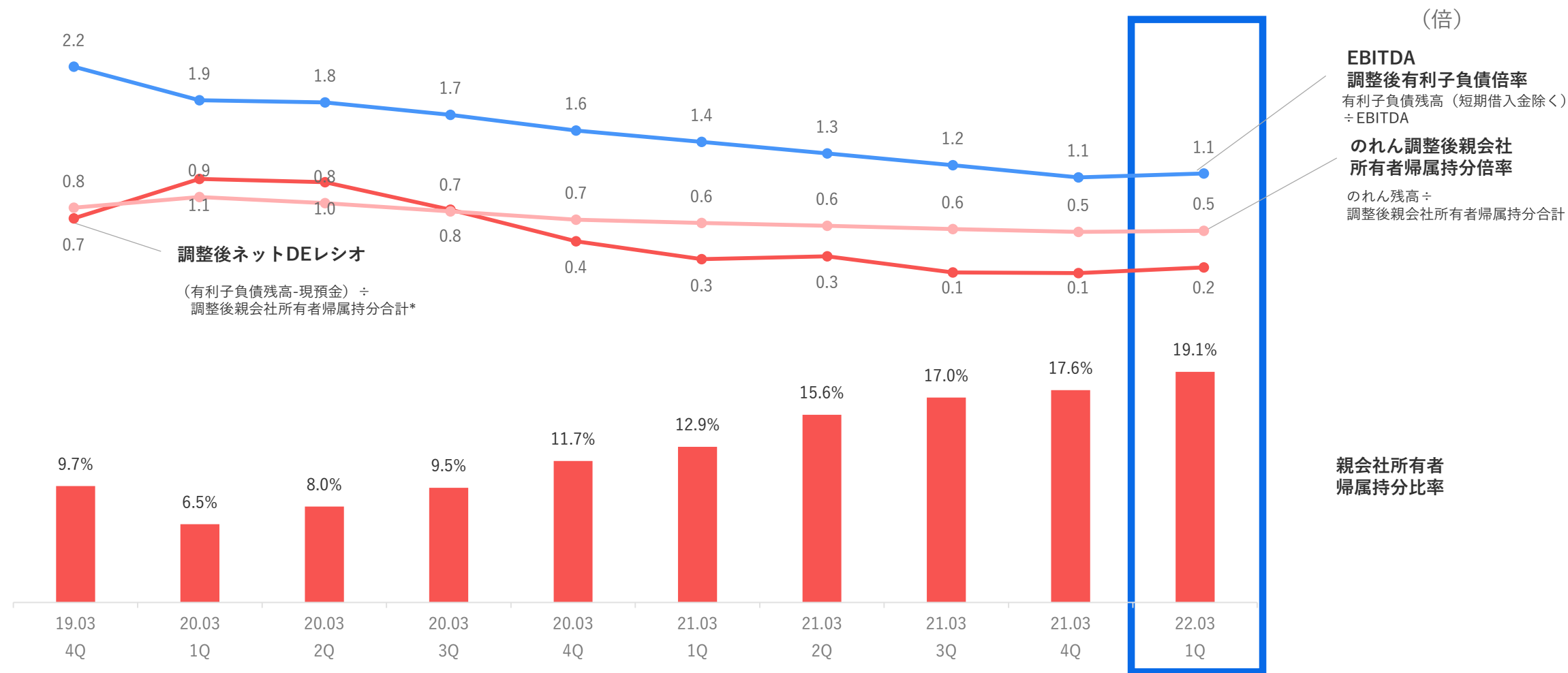
- ・探索領域（インバウンドサービス）への先行投資継続実施。

国内WORK事業（分野別売上の内訳）

通信分野、コールセンター、介護・保育領域、スタートアップ人材支援領域が堅調に推移。



親会社所有者帰属持分比率は、目標の20%に向けて着実に改善。それ以外の財務指標も安定推移。





II.中期経営計画（WILL-being 2023） 進捗

中期経営計画（WILL-being 2023）進捗

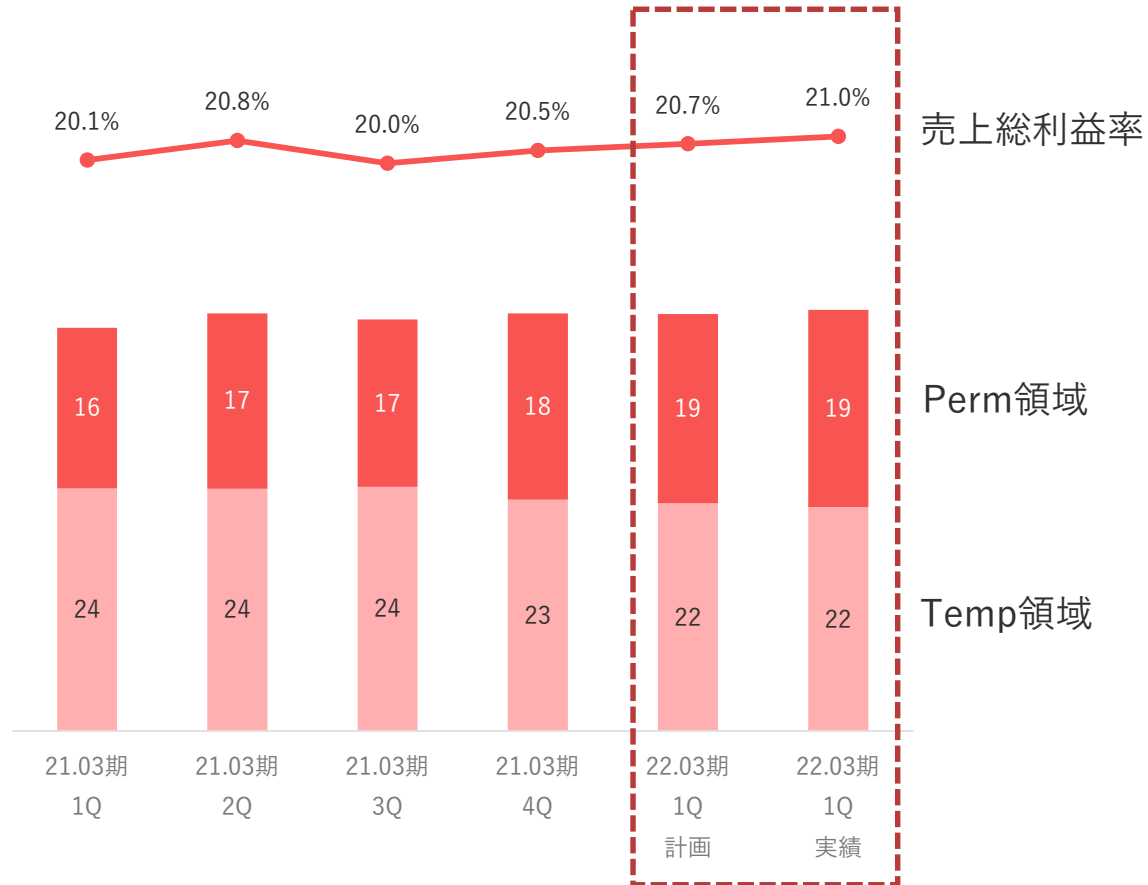
4つの重点戦略は、計画通り推移。

重点戦略	2022.3期1Qでの進捗
戦略Ⅰ ポートフォリオシフトによる収益性の改善	・ Perm領域のうち、人材紹介売上が国内、海外とも順調に推移したことで、国内WORK事業、海外WORK事業とも、1Qの売上総利益率目標を上回って推移。 ・ 建設技術者派遣領域は、21年4月新卒の配属は6月末までに完了。2Q以降売上増加見込み。 ・ 介護領域は、コンサルタントの先行投資を実施中。人材紹介人数、紹介予定派遣人数増加に注力。
戦略Ⅱ デジタルシフトによる生産性の改善	・ WILLOFスマホアプリの機能強化（申請のオンライン化）を継続実施。 ・ 2021年7月1日付で、主要子会社のウィルオブ・ワークとウィルオブ・ファクトリーを合併し、営業拠点、管理業務集約。
戦略Ⅲ 次なる戦略投資領域の探索	・ インバウンドサービスは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による入国制限が続いているため、新規契約数は当初想定より落ち込む。 ・ ビザマネ（ビザ管理のシステム）はニュース番組で紹介されて以降問い合わせ件数、無料版の契約増加。
戦略Ⅳ 財務戦略	・ 親会社所有者帰属持分比率は、目標：20%に対し、19.1%と順調に推移。 ・ 株主還元は、期首業績予想に対する総還元性向:30%ではあるが、今後の業績の進捗に応じて、増配及び自己株式取得等による還元を都度検討予定。

ポートフォリオシフトの進捗

Perm SHIFT推進により売上総利益率は向上。

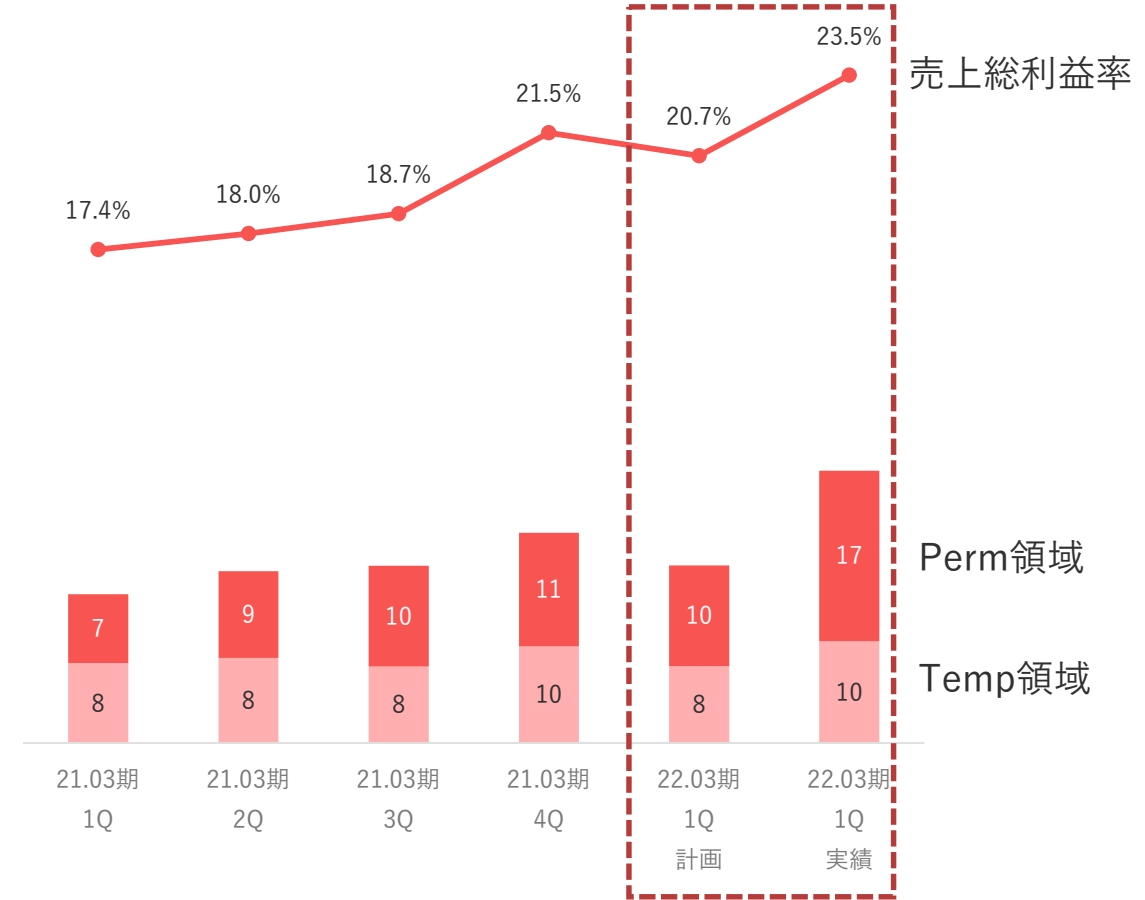
-国内WORK事業 Temp/Perm別売上総利益（億円）-



※セグメント内の連結調整は含んでいません。

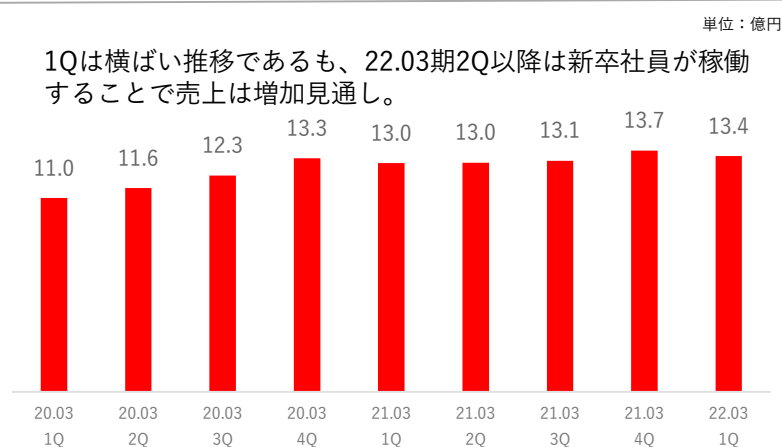
売上総利益、売上総利益率は、海外の補助金収入の影響等を除いた調整後の数値です。

-海外WORK事業 Temp/Perm別売上総利益（億円）-

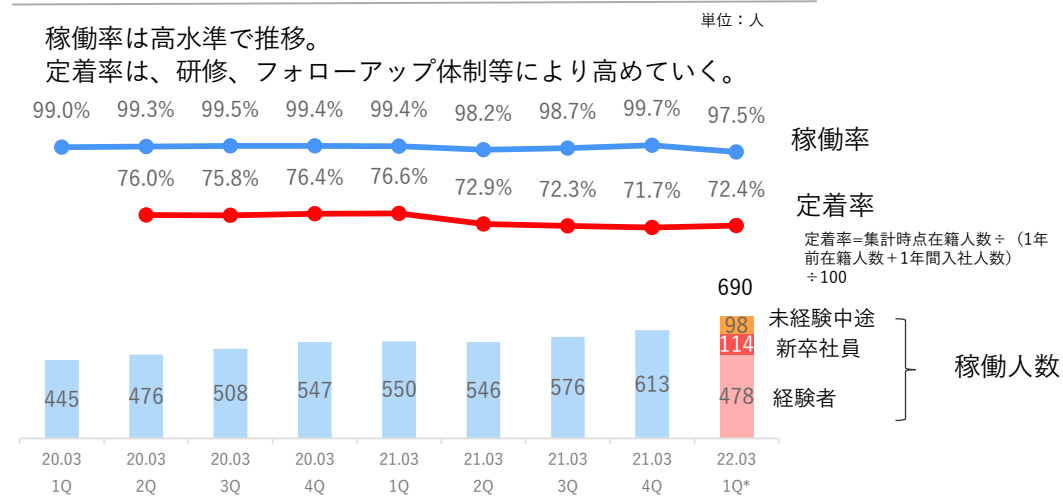


建設技術者派遣領域の進捗

四半期別売上高の推移

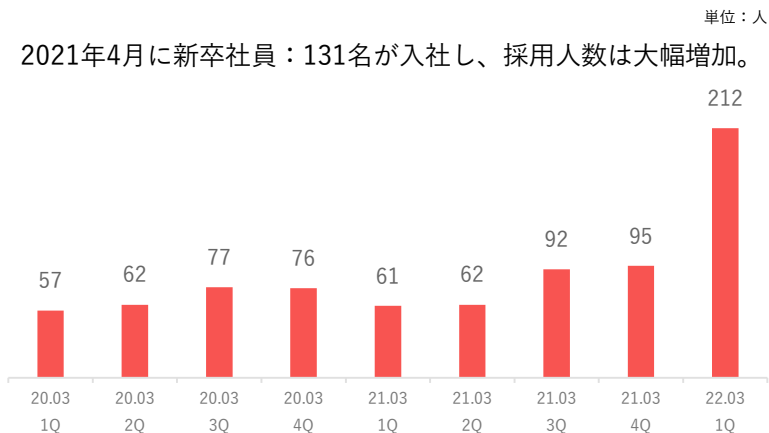


稼働人数、稼働率、定着率

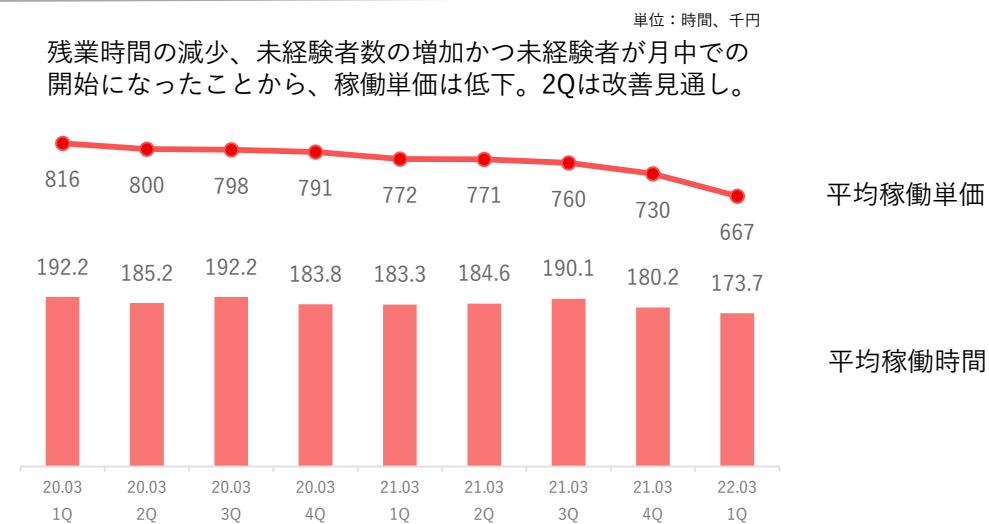


*22.03 1Qの稼働率は、新卒研修期間の影響を除外した2021年6月の稼働率です。研修期間の影響を含めた22.03 1Qでの稼働率は、90.4%になります。

採用人数



(月間) 平均稼働時間、平均稼働単価

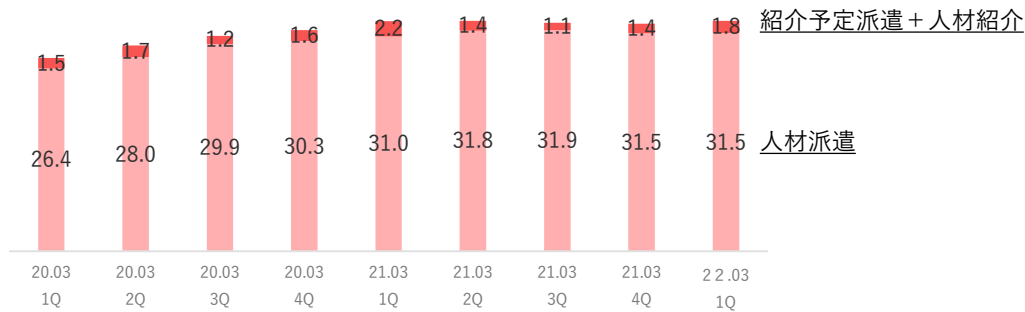


介護領域の進捗

四半期別売上高の推移

単位：億円

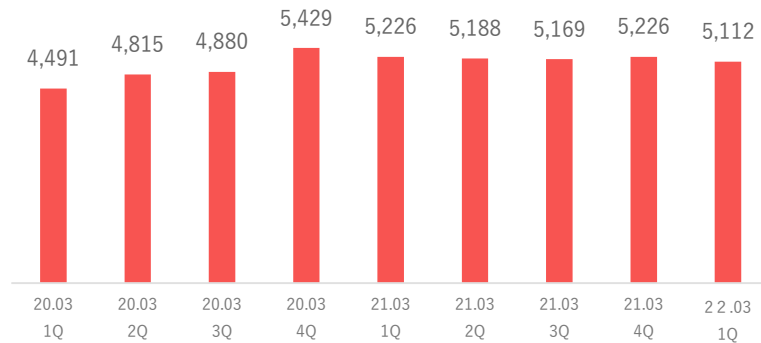
紹介予定派遣＋人材紹介は堅調に推移。



派遣稼働人員数

単位：人

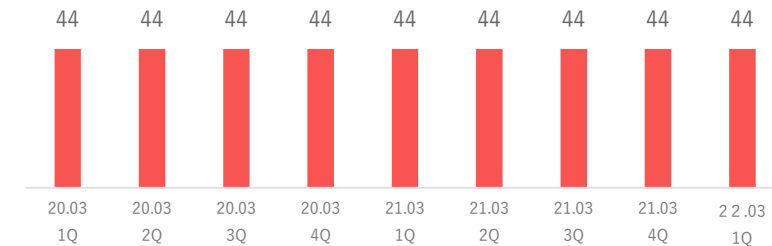
稼働人数は横ばい推移。新規オーダーの開拓強化。



営業拠点数

単位：店

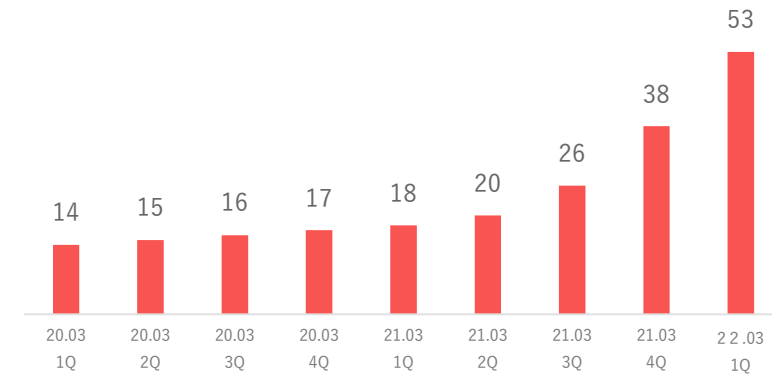
主要エリアへの出店は既に完了。22.3期、23.3期で4拠点新規出店予定。



人材紹介エージェント数

単位：人

人材紹介拡大に向け、コンサルタント採用の先行投資を実施。



Ⅲ.2022年3月期 業績予想、配当予想

2022年3月期 上期連結業績予想

1Qの業績予想上振れ及び2Qの為替前提を見直し、当初予想を上方修正。

(億円)	2021.3月期	2022.3月期 (当初予想)	2022.3月期 (修正予想)	当初予想比		
				増減	増減率	
売上収益	581.7	588.0	635.0	+ 47.0	+ 8.0	
うち国内WORK事業	395.9	407.9	401.5	△6.3	△1.6%	
うち海外WORK事業	179.0	173.8	226.6	+52.8	+30.4%	
うちその他	6.7	6.2	6.7	+0.5	+8.9%	
売上総利益 (売上総利益率)	119.2 (20.5%)	122.2 (20.8%)	135.5 (21.3%)	+ 13.2 (+0.5pt)	+ 10.9%	
営業利益 (営業利益率)	22.2 (3.8%)	12.0 (2.0%)	20.0 (3.1%)	+ 8.0 (+ 1.1pt)	+66.7%	
うち国内WORK事業	24.0	18.0	20.2	+2.1	+12.2%	
うち海外WORK事業	10.1	6.8	11.7	+4.9	+72.2%	
うちその他	△1.8	△2.1	△1.5	+0.5	-	
うち調整額	△10.0	△10.7	△10.4	+0.3	-	
親会社の所有者に帰属する当期利益	13.0	6.5	11.8	+ 5.3	+ 81.5%	
EBITDA	32.6	21.0	29.1	+ 8.0	+ 38.0%	
	前期	為替前提 (当初予想)	為替前提 (修正予想)	1円変動による影響額/年		
				売上収益	利益	
	オーストラリアドル	76円	68円	84円	3.8億円	0.1億円
	シンガポールドル	78円	72円	82円	0.9億円	0.0億円

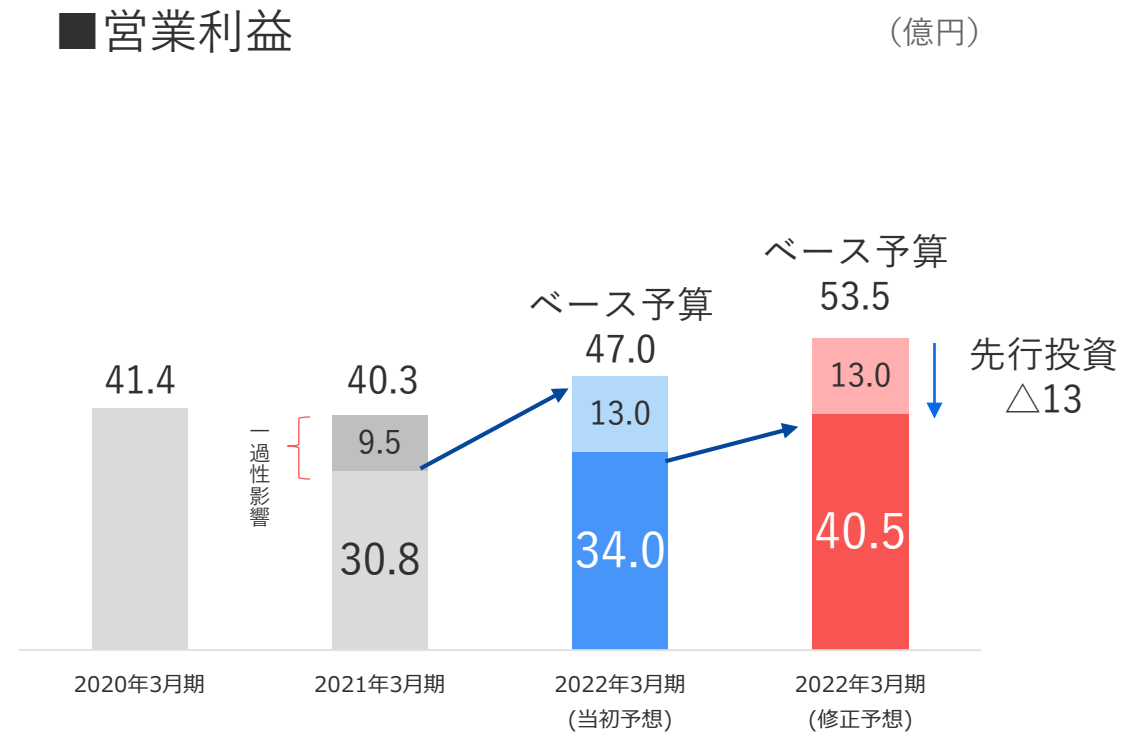
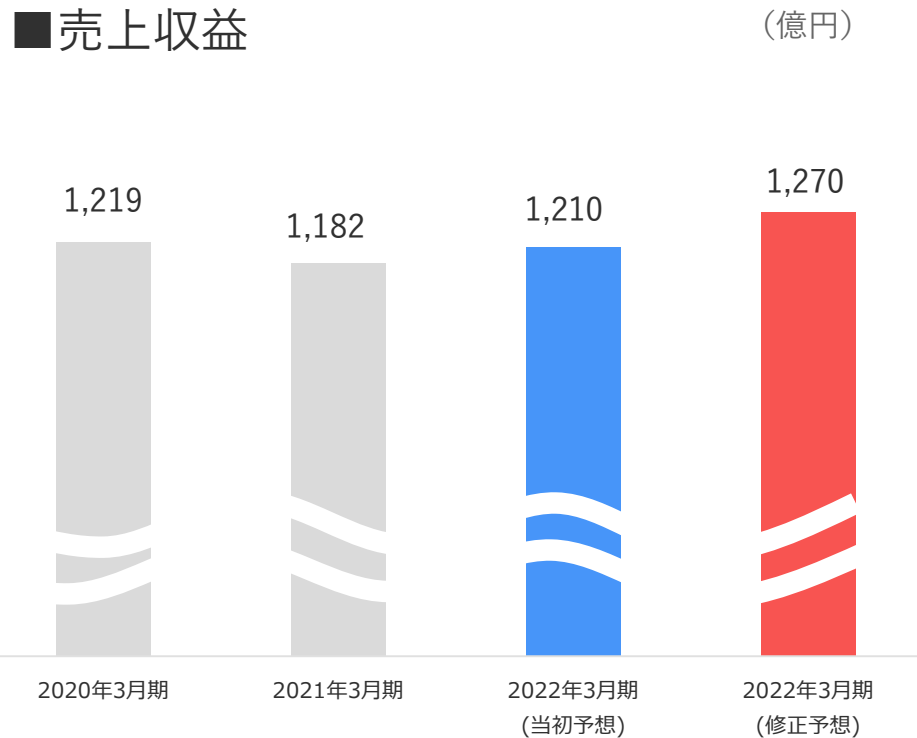
2022年3月期 通期連結業績予想

1Qの業績予想上振れ及び2Q以降の為替前提を見直し、当初予想を上方修正。

(億円)	2021.3月期	2022.3月期 (当初予想)	2022.3月期 (修正予想)	当初予想比		
				増減	増減率	
売上収益	1,182.4	1,210.0	1,270.0	+ 60.0	+ 5.0%	
うち国内WORK事業	800.5	840.5	833.0	△7.4	△0.9%	
うち海外WORK事業	369.2	353.7	420.8	+67.0	+ 18.9%	
うちその他	12.8	15.7	16.1	+0.4	+ 2.7%	
売上総利益 (売上総利益率)	240.5 (20.3%)	256.4 (21.2%)	271.7 (21.4%)	+15.3 (+0.2pt)	+ 6.0%	
営業利益 (営業利益率)	40.3 (3.4%)	34.0 (2.8%)	40.5 (3.2%)	+6.5 (+0.4pt)	+ 19.1%	
うち国内WORK事業	47.2	43.6	45.9	+2.1	+ 4.8%	
うち海外WORK事業	19.4	14.7	18.3	+ 3.5	+ 24.3%	
うちその他	△3.9	△2.9	△2.5	+ 0.4	-	
うち調整額	△22.4	△21.6	△21.2	+ 0.3	-	
親会社の所有者に帰属する当期利益	23.6	18.4	22.8	+4.4	+ 23.9%	
EBITDA	62.5	52.0	58.1	+6.1	+ 11.7%	
	前期	為替前提 (当初予想)	為替前提 (修正予想)	1円変動による影響額/年		
				売上収益	利益	
	オーストラリアドル	76円	68円	84円	3.8億円	0.1億円
	シンガポールドル	78円	72円	82円	0.9億円	0.0億円

2022年3月期 修正業績予想の前提

1Qは国内、海外の人材紹介が好調に推移。2Q以降は当初予想でも人材紹介売上の増加を織込み済のため、為替レートの見直しを除き、当初予想から大きな変更はありません。
先行投資（建設技術者社員の採用・営業体制強化（6億円）、介護・IT人材・スタートアップ領域の人材紹介のコンサルタント人員体制強化（7億円））は当初計画通り実施予定。



2022年3月期 国内WORK事業の領域別業績予想数値

(億円)

セグメント	領域	2021.3月期	2022.3月期 (当初予想)	2022.3月期 (修正予想)	当初予想 からの増減額
		上段：売上	上段：売上	上段：売上	上段：売上
		下段：営業利益	下段：営業利益	下段：営業利益	下段：営業利益
国内WORK事業	セールス アウトソーシング領域	192.2	201.0	197.1	△3.8
		16.4	16.8	16.9	+0.1
	コールセンター アウトソーシング領域	168.6	168.7	170.4	+1.7
		11.3	11.1	11.8	+0.6
	ファクトリー アウトソーシング領域	205.8	194.5	188.2	△6.2
		12.5	12.2	12.5	+0.3
	介護ビジネス支援領域	132.1	156.3	154.1	△2.1
		3.8	7.0	7.2	+0.2
	スタートアップ 人材支援領域	12.7	17.8	22.0	+4.1
		1.5	1.8	4.5	+2.7
	建設技術者領域	52.7	61.8	61.0	△0.8
		0.5	△4.2	△4.9	△0.6
	その他	36.1	40.2	40.0	△0.2
		5.2	3.3	3.5	+0.1

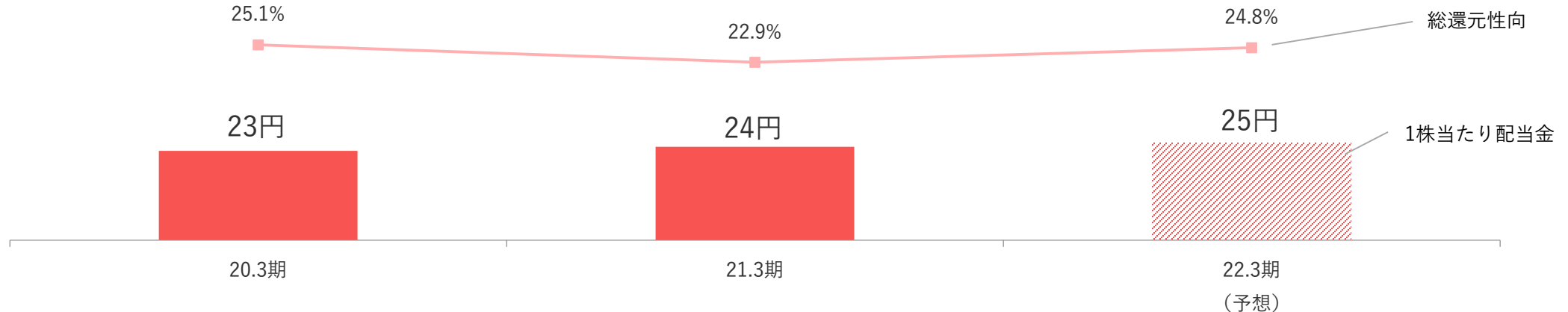
※セグメント内の連結調整は含んでいません。

2022年3月期 配当予想

株主還元目標は、期首業績予想に対する総還元性向:30%を目安としているため、当初予想を据置。今後の業績の進捗に応じて、増配及び自己株式取得等による還元を都度検討予定。

	2021.3月期	2022.3月期 (予想)
期末配当	24円/株	25円/株
総還元性向	22.9%	24.8%

■1株当たり配当金、総還元性向の推移



減損リスクについて

先行投資を行っているウィルオブ・コンストラクションを除き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から回復に向かっており、現時点で減損リスクはない見通し。

(億円)

	主要拠点	事業内容	連結 開始 (持分割合)	投資 残高 *1	*2	2021.3期 1Q	2022.3期 1Q	前期比
 ウィルオブ・コンストラクション	首都圏、東北	東北地方を中心に建設技術者派遣・紹介を展開。 経験・スキルの高い施工管理技士が多数在籍しており、特に建築土木の大型工事の技術者派遣において優位性を持つ。	2018/6 (100%)	25.8	売上	12.9	13.3	+ 3.1%
	シンガポール	シンガポールを中心に、香港、日本、米国、中国、オーストラリア及び英国の各国の完全子会社を通じて、HR領域に特化した人材紹介、コンサルティング事業を展開。	2019/1 (76%)	22.3	利益 *3	0.5	△2.0	-
	ブリスベン	オーストラリアにおいて、政府機関及び大手企業に対して人材紹介及び人材派遣を展開。	2019/4 (80%)	22.5	売上	2.6	4.0	+ 55.4%
	メルボルン	オーストラリアにおいて、政府機関、通信企業、エネルギー企業、電化製品製造業等、様々な業界の機関・企業に対し、事務職、コールセンター関連職の人材紹介及び人材派遣を展開。	2018/1 (80%)	14.3	利益 *3	0.4	1.4	+ 239.9%
					売上	17.3	22.5	+ 30.2%
					利益 *3	1.2	2.9	+ 144.3%
					売上	35.1	33.6	△4.1%
					利益 *3	0.8	0.7	△19.6%

4 社合計投資残高 : 84億円
連結投資残高 : 100億円

*1 投資残高は、のれん残高と識別可能な無形資産残高の合計です。

*2 連結開示時期を問わず、売上、利益の実績については連結会計期間の4月-6月の実績を記しています。

また、為替影響を除くため、1シンガポールドル=80円、1オーストラリアドル=80円で換算しています。

*3 利益については、識別可能な無形資産の償却額、内部取引、一時的に発生した費用を除いた税引前利益です。



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

■IRに関するお問い合わせ先

株式会社ウィルグループ 財務部IRグループ

TEL：03-6859-8880